

## 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：水産業費 目：水産業振興費

<b>事業名</b>	<b>内水面振興施設整備事業費</b>
------------	---------------------

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 里川振興課 水産振興室 水産係 電話番号:058-272-1111(内 2912)

E-mail : [c11428@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11428@pref.gifu.lg.jp)

**1 事業費** **445,327 千円 (前年度予算額 : 478,255 千円)**

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附 金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	478,255	12,415	0	0	0	0	40,739	376,200	48,901
要求額	445,327	0	0	0	0	0	20,300	361,000	64,027
決定額									

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

#### ①岐阜県魚苗センター

- ・本施設は昭和58年に設置されて以降、良質な放流用あゆ種苗を安定的に供給することで本県の内水面漁業の振興に大きく貢献してきた。
- ・建設後、12～45年が経過しており、修繕の必要が生じている。
- ・飼育池の損壊、機器類の故障等による施設機能の停止は、その年の事業に決定的な被害を与える危機であることから、機能停止を未然に防ぐため、計画的な修繕工事等の実施が課題となっている。

#### ②魚道

- ・農政部は、平成3～14年度に長良川流域を中心に整備された21箇所の魚道を所管している。
- ・毎年実施している魚道の機能診断で、要改修の判定を受けた魚道について、計画的な改修が課題となっている。

#### ③清流長良川あゆパーク

- ・供用開始後の施設効果向上を図るため、利用者の意見等を踏まえながら継

継続的に補完工事を実施していくことが課題となっている。

## (2) 事業内容

- ① 岐阜県魚苗センターの改修工事 401,231 千円 (県債 361,000 千円)
  - ・ 関事業所飼育棟建築改修工事
  - ・ 関事業所飼育棟電気設備改修工事
  - ・ 関事業所飼育棟機械設備改修工事
  - ・ 関事業所改修工事監理業務
  - ・ 美濃事業所修繕実施設計業務
- ② 魚道の改修工事 20,300 千円
  - ・ 魚道 1 カ所改修工事 (森林環境税 20,300 千円)
- ③ 清流長良川あゆパークの改修工事 23,796 千円
  - ・ 安全対策 (体験活動) 工事

## (3) 県負担・補助率の考え方

県所有の施設であることから、県の負担で実施する必要がある。

## (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	595	業務旅費
消耗品費	337	工事材料等物価本等購入費
修繕料	4,000	ウェルカムボード修繕
役務費	55	事務郵送
委託料	22,612	実施設計委託、業務委託
工事請負費	417,697	魚苗センター施設改修工事、あゆパーク安全対策工事
その他	31	会議室等の使用料
合計	445,327	

### 決定額の考え方

「途中経過」または「予算案の決定 (知事査定後)」  
の公開の際に記載します。

#### 4 参考事項

##### (1) 各種計画での位置づけ

○ぎふ農業・農村基本計画（R3～R7）

第5章 政策の方向性

(3)ぎふ農畜水産物のブランド展開

⑥鮎を守り育てる体制構築

○岐阜県県有建物長寿命化計画

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画

##### (2) 後年度の財政負担

県有施設の改修（修繕を含む。）工事であることから、継続して計画的に実施する必要がある。

##### (3) 事業主体及びその妥当性

県有施設の改修（修繕を含む。）工事であることから、県が実施することが適当である。



# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

（事業目標）

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H )	(H ) (H )	(H )	(H )	%
	(H )	(H ) (H )	(H )	(H )	%

○指標を設定することができない場合の理由

現存施設の維持管理で、現在の機能を維持することを目的とする事業であるため。

（前年度の取組）

- ・ 事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
- 関事業所飼育棟工事（建築、機械設備、電気設備）を実施
- 魚道の整備（1か所）

（前年度の成果）

- ・ 前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い     △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価)  ○	施設機能を維持するため、計画的に修繕工事等を実施するもので、必要性の高い事業である。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている     △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価)  ○	施設の生産規模を大幅に減少させること無く改修工事を実施する必要があり、3ヶ年に渡って計画的に改修を実施している。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</li> </ul>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	

